

富山大学人文学部
富山循環型「人文知」研究プロジェクト公開研究交流会

第7回 「人文知」コレギウム

『古事記』と「八雲」

中島淑恵

(フランス言語文化・教授)

文学研究の
最前線

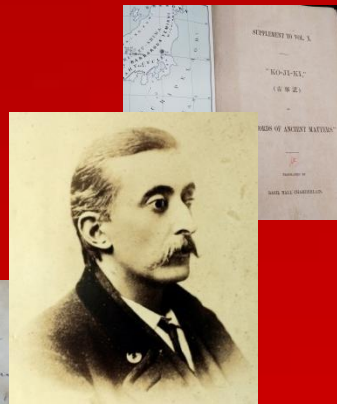
外なる眼
内なる眼

小谷瑛輔

(日本文学・准教授)

芥川龍之介、自殺前の苦悩とは

本学ヘルン文庫には、ラフカディオ・ハーン(小泉八雲)が来日してすぐに購入したと思われるチェンバレン訳『古事記』が収蔵されています。今回は、ハーンが『古事記』にどのような関心を抱いていたか、最新の調査結果も交えてご報告させていただきます。



「唯ぼんやりとした自殺の苦悩とは何だっ
安」と言残して彼の最後のか? 実を告白しよ
たのか? と試み、遺族や纂者により
あることと試み、遺族や纂者により
と試み、遺族や纂者により
いたことになりました。その
を發見しました。芥川研究者が解説します。

2018年4月18日(水) 13:30-15:30

一般・学生聴講可
(無料)

富山大学人文学部2階第4講義室

平成29年度コレギウムの成果が本になりました!
富山大学人文学部編
『人文知のカレイドスコープ(富山大学人文学部叢書1)』
(2018.3 刊行, 桂書房, 1,500円)

お問い合わせ:
富山大学人文学部総務課
TEL 076-445-6131
FAX 076-445-6141
<http://www.hmt.u-toyama.ac.jp/>
<https://www.facebook.com/hmttoyama/>